

第 1 章

令和7年度 岡山県小学校長会 総会・研修会の概要



開会式

令和7年度 岡山県小学校長会総会・研修会の概要

令和7年度岡山県小学校長会総会・研修会を5月13日（火）10時から、ピュアリティまきびにおいて、昨年度に引き続きハイブリッドオンライン形式で開催した。議事の採決については、小学校長会ホームページを活用して、事前にウェブ上で回答をとり、承認された。

全体進行 幹事長 八田 卓二

◆ 総会・研修会の日程

- 1 開会のことば
- 2 国歌演奏
- 3 役員紹介
- 4 会長挨拶 会長 小山 典子
- 5 感謝状並びに記念品紹介
副会長 西村 欣也
- 6 閉会のことば
- 7 令和6年度事業報告（担当幹事）
- 8 議 事
 - (1) 第1号議案
令和6年度 決算報告について
 - (2) 第2号議案
規約の改正について
 - (3) 第3号議案
令和7年度 活動方針について
 - (4) 第4号議案
令和7年度 事業計画について
 - (5) 第5号議案
令和7年度 歳入・歳出予算案について
- 9 研 修
講師紹介 副会長 片岡 学
演題「GIGAスクール時代の学習指導要領改訂の方向性」
講師 文部科学省初等中等教育局
教育課程課長
GIGA StuDX 推進チーム
ディレクター（副）
武藤 久慶 氏
謝辞 副会長 矢部 晃章
- 10 閉会挨拶 副会長 川埜 誠

会長挨拶



小山会長

感謝状並びに記念品紹介



西村副会長

監査報告



谷監査

講師紹介



片岡副会長

研修謝辞



矢部副会長

閉会挨拶



川埜副会長

全体進行



八田幹事長



開会の挨拶

岡山県小学校長会 会長 小山典子

県内の校長先生方、おはようございます。今年度、岡山県小学校長会の会長を務めさせていただくことになりました、岡山市立東疇小学校の小山です。令和7年度岡山県小学校長会総会・研修会の開会に当たりまして一言、ご挨拶を申し上げます。

今、私達の前には、講師不足、若手職員の育成、働き方改革、教育DXの推進など、本当に多くの課題が山積しています。また、学校の統廃合や義務教育学校の設立なども増えてきていて、それに向けての準備や計画なども進めていかなくてはいけない校長先生方もいらっしゃると思います。

昨年度の小川会長は、課題解決に向けて、県内の校長先生方と「対話」し、困り感について「共感」し、一緒に悩み、考えていく県校長会とするため「対話と共感」というキャッチフレーズで会を進められました。県内の校長先生方と、情報交換をしていく中で、各支部の状況を知り、考えていく事ができました。

一つあげますと、2年越しにはなりましたが、自転車教室について、新たな案を出していただけたことも大きかったと思います。今年度は、昨年度、みんなで考えてきた事がどうなのかを検証しつつ、また、共有すべき新たな課題があれば、皆さんとつながって、一緒に考えていきたいと思っています。

働き方改革については学校現場で、さまざま工夫を行い、動いておられると思います。県校長会としても、スリム化を図り、またいろいろなことで改革を行う方向で進んでいま

す。例えば、この県小学校長会の幹事は本部役員7名と、特任幹事3名で構成されています。今まで、本部役員は岡山支部から毎年2名ずつ選出されてきました。岡山県のこれからの教育を考えるにあたっては、岡山支部だけではなく本部役員が必要ではないかと、検討を重ね、令和9年度から倉敷支部からも1名、本部役員に選出していただけることとなりました。今以上に県内の校長先生方としっかりつながっていくことができると考えています。

また、本日の議案にも入っておりましたが、今年度から各ブロックから選出していただく理事の人数を、5名から4名へと少なくしております。県校長会の会も可能なものは、リモートでの実施を行い、できるだけ校長先生が学校にいていただく時間ができるようにと考えております。

来年度からの県大会の持ち方も、発表していただく本数を10本から5本へと変更し、お互いがつながり、情報をやり取りできる時間



を設ける方向で考えています。

みなさんからのお声をいただいたり、一緒に考えたりしていく中で、新たな方向へと進んでいます。

今年度は、8年ぶりに岡山で中国地区の小学校長会教育研究大会が開かれます。倉敷支部、ブロックの先生方には本当にお世話になっております。中国地区の他県の校長先生方と話ができるよい機会です。他県の校長先生方とつながって色々な情報をいただく中で、岡山県の教育に活用できることや課題などを考えていくことができればと思っています。

それぞれの学校では、校長は一人ですが、県内には353名の仲間がいます。私もとても

心強く思っています。校長先生方が、しっかりつながって共に進んでいくことができるように、私は、キャッチフレーズを「つながる」としたいと思います。

お互いの「つながり」を作るだけでなく、その先の「つながる」ことを大切にしていきたいです。県内はもちろん、県外の校長先生方ともつながって、これからの未来を創っていく子ども達のために、一緒に考えていきましょう。

少し長くなりましたが、開会のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。



令和7年度 岡山県小学校長会活動方針

岡山県小学校長会は、結成以来、本県の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ねるとともに、より良い教育条件の整備に努め、多大な成果をあげてきた。

現在、グローバル化や情報化が加速度的に進展する中で、社会環境の変化や価値観の多様化が進み、様々な分野で今までにない変化に直面している。特に、人工知能（AI）の進化は飛躍的であり、生活の中に深く浸透しつつある。予測困難なこれからの社会の中で、主体性をもって生きていくためには、変化の中で自ら新たな価値を創り出していく力が必要である。学校教育においては、子どもたちの学びの保障と多様な幸せと共に、社会全体の幸せでもあるウェルビーイングの実現のために、一人一人の可能性を最大限に引き出す教育を推進することが求められる。また、SDGsに代表される持続可能な社会の創造者の育成のため、「知識及び技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力や人間性の涵養」といった3つの力をバランスよく育む教育を実現していかなければならない。

そのため校長には、判断力と決断力をもって、学校組織の活性化を図り、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に努めるとともに、明確なビジョンを掲げ「学校を元気にする」ことが求められている。また、働き方改革の実現、人材育成による教職員の資質・能力の向上、いじめ・不登校への対応、特別支援教育の充実など、山積する教育課題の解決に立ち向かっていかななくてはならない。さらに、子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現させる「令和の日本型学校教育」の構築に向け、広い視野をもち、未来を見通した課題の明確化と解決に努める必要がある。

このような状況に対し、組織の総力をあげて調査・研究活動の充実に努めるとともに積極的に施策提言を進め、県民の信託に応える必要がある。そのために、校長は自らの使命を自覚し、学び続け、子どもたちと学校の未来を見据えた確かな計画と実行力をもって「チームとしての学校づくり」を推進し、信頼される学校づくりに努める必要がある。

そこで、本会は、全国連合小学校長会並びに岡山県中学校長会、岡山県教育委員会等と密接な連携を保ち、各支部小学校長会との連携を緊密にして組織及び活動の充実に努め、次の事項を重点としてその実現を期するものである。

1 学校経営の充実

校長自ら研鑽に励み学び続けることにより、学校経営上の課題解決のため、創意ある教育活動の充実を図り、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという学習指導要領の理念の実現に向けて、家庭・地域社会から信頼されるよう学校経営の充実に努める。

2 研究活動の充実

全国連合小学校長会の研究主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受け、「夢や知を育み 持続可能な社会の創造者となる 子どもの育成に向けた学校経営の推進」を副主題として研究を進め、その成果を学校経営で具現化するよう努める。

3 創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善

豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手を育成するため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実によって知識及び技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の育成や学びに向かう力や人間性等を涵養するための教育課程の編成・実施・評価・改善を着実に進める。

主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善、言語活動の充実、情報活用能力の育成、1人1台端末の活用、多様な他者との協働、自主的・自発的な学習の推進、学校内外のリソースの活用等により、カリキュラムマネジメントの充実に努める。また、道徳教育の充実により、心の教育を一層推進するとともに、いじめや不登校への適切な対応を図ることや健やかな心身の育成に努める。さらに、特別支援教育においては、個のニーズに応じた支援を充実させ、一人一人の自己実現を目指す教育を推進する。

4 教職員の定数や処遇の改善・学校における働き方改革の実現

教科担任制の適切な運用による持ち授業時数の縮減など「子どもと向き合う時間」の確保、質の高い教育活動を実現し「チームとしての学校づくり」を推進するための人的措置の充実、学校業務の整理等による教員の長時間勤務の改善、魅力ある職業として教員志望者を増やして適正と力量のある人材を確保するための人材確保法の堅持等について、国や県の動向を注視しながら提案・陳情活動を行い、教職員の定数や処遇の改善・学校における働き方改革の実現に努める。

5 教職員の資質能力の向上

質の高い教育活動を実現するための人材育成を目指し、明確な人材育成方針のもとに適切な指導助言を行い、教職員一人一人に専門職としての自信と誇りを育み、学級経営、教科指導、生徒指導などの実践的指導力を高めるよう努める。

また、教職員の資質能力の向上に関わる諸制度、教員の養成・採用・研修体系の整備等の提案・陳情活動に努める。

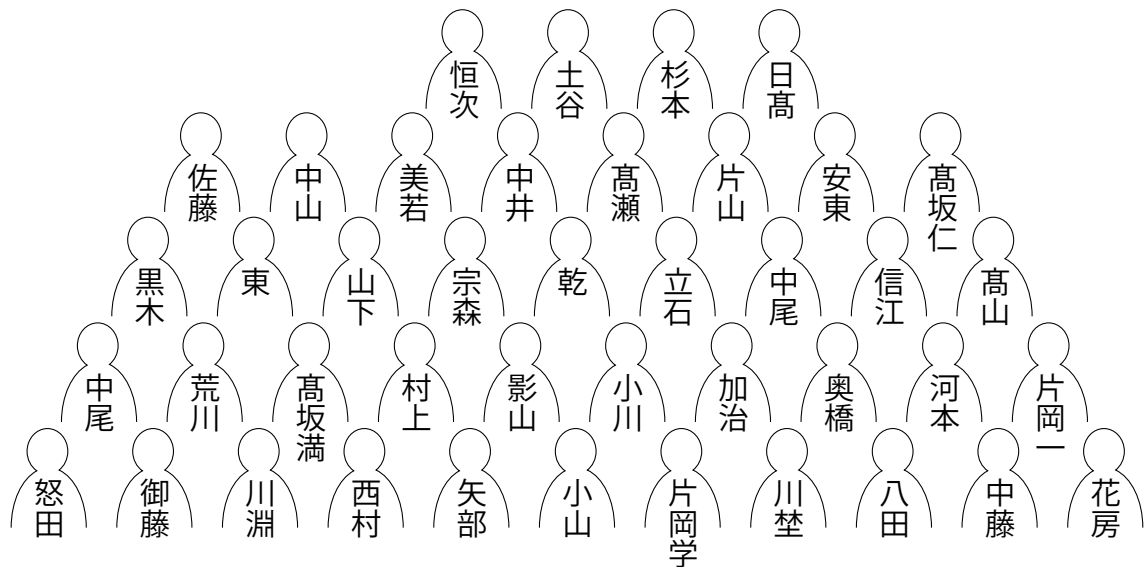
6 組織の強化・活動の充実

令和7年度は8年ぶりに岡山県で中国地区の大会が開催される。第72回中国地区小学校長会教育研究大会岡山大会 令和7年度岡山県小学校長教育研究大会倉敷大会では、他県の校長と学びや交流を通してつながることで、より広い視野でこれからの教育について考えることができるようにしていく。また、各ブロックや支部の校長会等の主体的な取組等の情報の収集・整理・分析・発信を通して、組織の強化と活動の充実に努める。

県中学校長会との連携も、より一層深め、協力して提案・陳情活動の充実に努める。

令和7年度 岡山県小学校長会役員

(令和7年4月24日(木) 於 ピュアリティまきび)



研修会（講演）

「GIGAスクール時代の学習指導要領改訂の方向性」

講師

文部科学省初等中等教育局 教育課程課長
GIGA StuDX 推進チームディレクター（副）

武藤久慶氏

<講師紹介>（片岡副会長）

それでは、武藤久慶（むとう ひさよし）先生の紹介をいたします。

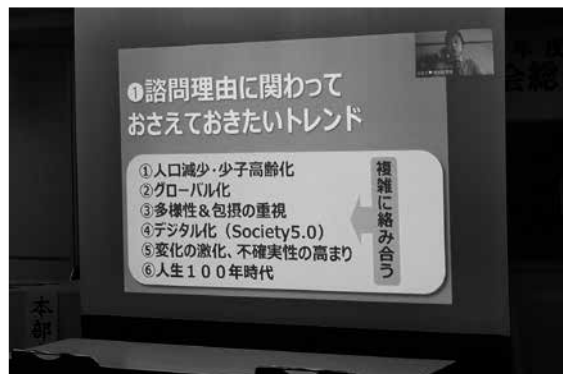
武藤先生の略歴につきましては、配付されております資料の通りです。

平成12年に、現 文部科学省に入省されて以来、教育課程企画室、外務省一等書記官、学校デジタル化プロジェクトチームリーダーなど、様々な部署で経験を積み、2024年4月に教育課程課長に就任されました。

特に、アメリカで研究を進められたことや北海道教育委員会への出向は、武藤課長の幅広い知識と深い考え方を形成するうえで非常に重要な役割を果たしたと聞いております。

また、日本各地での講演では、非常にキレがあり、分かりやすいお話であると、とても好評で、私も、今日、武藤先生のお話を聞けることを楽しみにしておりました。

今日は、岡山県の教育界にとっても、有意義な時間になると考えています。



（東京、ピュアリティまきび、各学校を結んでオンラインで研修）

<謝辞>（矢部副会長）

本日はご多忙の中、文部科学省より武藤久慶様にオンラインにてご講演を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

「GIGAスクール時代の学習指導要領改訂の方向性」についてのご示唆は、私たちがこれからの学校教育をどのように創り上げていくべきかを考えるうえで、大変貴重な学びとなりました。一人一台端末の環境が整った今、子どもたちが主体的に学び、思考を深め、協働して課題を解決していくための教育の在り方を、改めて見つめ直す機会となりました。

本日の内容を各校の実践に生かし、未来を切り拓く子どもたちの育成に一層努めてまいります。結びに、武藤様のますますのご活躍と、皆様のご健勝をお祈り申し上げ、謝辞といたします。